

農山漁村地域整備計画事前評価調査

計 画 の 概 要	計画の名称	『「がんばろう！宮崎」食と地域の基盤づくり計画（第4期）』		
	計画策定主体	宮崎県		
	対象市町村	宮崎市、都城市、延岡市、日南市、小林市、日向市、串間市、えびの市、西都市、三股町、高原町、国富町、綾町、新富町、川南町、高鍋町、西米良村、木城町、都農町、門川町、諸塚村、美郷町、椎葉村、高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町（26市町村）		
	計画期間	令和7年度～令和11年度（5年間）		
評 価 の 指 標	計画の目標	「持続可能な魅力あるみやざき農業」を実現するため、生産性の向上や作業効率化などスマート農業に対応した生産基盤の整備や、施設の維持管理軽減が図られる用排水施設整備を推進し、次世代に安心して引き継ぐことのできる農業農村づくりを目標とする。		
	評価指標	計画の目標を達成するため、以下の整備に着手します。 (1)【水利施設整備事業、農地防災事業】 用排水施設整備： （〃） 「290.6haの農地を対象とした用排水路の整備による安定的な用水供給と排水機能の確保」 (2)【農地整備事業】 水田のほ場整備： （〃） 「29.1haの農用地の区画整備及び付帯する用水路等農業用施設の整備による農作業の効率化、担い手への農地利用集積率を42ポイント増加」 (3)【農地整備事業】 農道整備： （〃） 「1,289mの農道の新設、改良による通作条件の確保、改善及び維持」 (4)【農村整備事業】 農業集落排水施設整備： （〃） 「県内5市町24処理区の処理施設、管路施設、ポンプ施設及び附帯施設の更新整備」 (5)【農地整備事業】 草地畜産基盤整備等： （〃） 「39.5haの草地等の整備による畜産経営において必要となる飼料の確保」		
	対象事業	農地整備事業 経営体育成型 4地区 通作条件整備（基幹農道保全対策型） 1地区 通作条件整備（一般農道保全対策型） 4地区 通作条件整備（基幹農道一般型） 2地区 畜産担い手総合整備型（再編整備事業） 3地区 農村整備事業 農業集落排水事業（農業集落排水施設等の整備又は改築） 5地区 農業集落排水事業（整備又は改築のための調査及び計画の策定） 1地区 水利施設整備事業 畑地帯総合整備型（担い手支援対策） 3地区 基幹水利施設保全型 1地区 地域農業水利施設保全型 1地区 農地防災事業 ため池等整備事業（用排水施設整備工事） 1地区 農地保全整備事業（農地保全整備事業） 1地区		
全体事業費	対象事業費 6,418,327千円（6,375,887千円）			
評 価	項 目	評 価 細 目	評 価	説 明 欄
	目標の妥当性	1 関連する計画との整合性が図られているか	○	県が策定した「第八次宮崎県農業・農村振興長期計画」に定める目標や方向性と整合性がとれている。
		2 地域の課題に適切に対応する目標となっているか。	○	本県の農業農村は、高齢化の進行や担い手の減少、燃料や飼料の高騰といった農業経営の圧迫による生産基盤の弱体化、施設の老朽化や頻発する気象災害への対応が課題となっており、本計画の目標は、これらの課題に対応した目標となっている。
	整備計画の効果・効率性	1 整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか。また、事後評価ができる適切な指標となっているか	○	本計画の定量的指標は計画の目標を達成するために必要な農業生産基盤及び生活環境基盤の整備量を指標としており、中間評価、事後評価が実施可能な指標となっている。
		2 構成事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか	○	整備計画に位置づけた事業は、計画の目標を達成するために必要な農業生産基盤及び生活環境基盤の整備を実施するために必要な事業であり、事業の実施による効果を評価するための指標となっている。
	整備計画の実現可能性	1 円滑な事業執行の環境が整っているか	○	対象事業は、地域の課題に対応したものであり、県、市町村、地元土地改良区、関係団体等が一体となった推進が図られることが確実である。
		2 地元の推進体制等は整っているか。	○	対象事業は地元受益者や市町村から申請された事業であり、地元関係者からは同意または理解が得られており、推進体制が整っている。
評価結果	A:事業の実施		[評価基準] 「事業の実施」は全項目に○印がついている	
	B:計画の見直し		「計画の見直し」は1項目でも×印がついている	